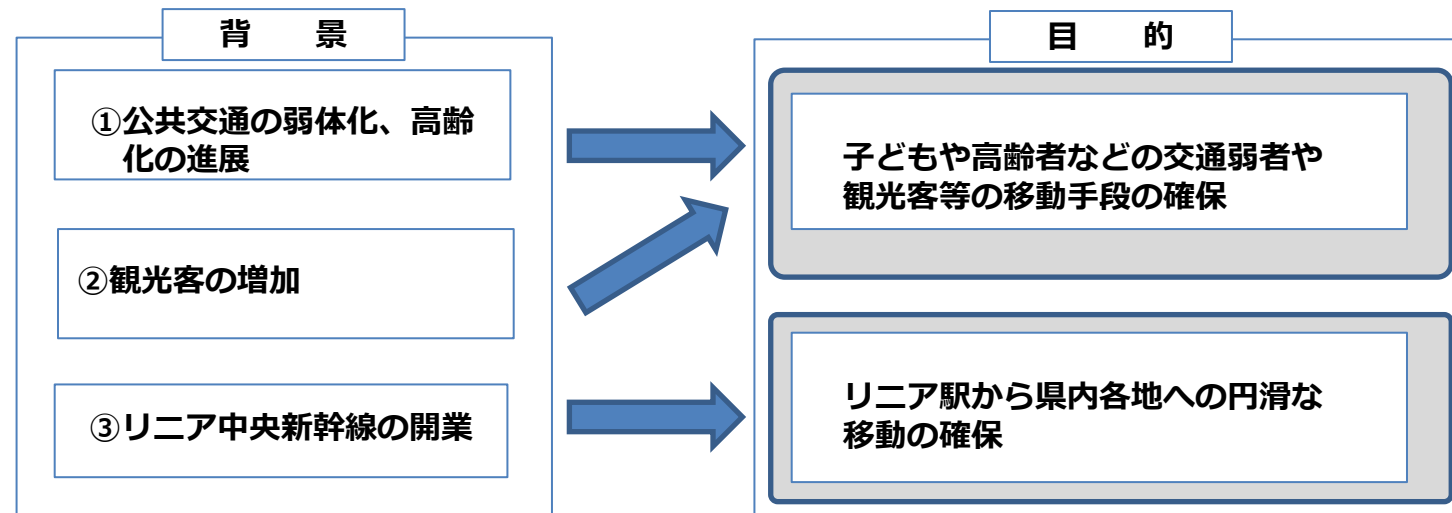


① 策定の背景と目的



② 基本的な考え方

- ①通勤・通学、通院や買い物などの日常生活における移動の利便性を高め、子どもや高齢者にとって利便性の高いバス交通ネットワークを構築する。
- ②県外からの観光客等の県内各地への円滑な移動を確保するため、バス交通の充実を図る。
- ③リニア中央新幹線の開業を見据え、リニア駅から県内各地への円滑な移動を確保するため、利便性の高いバス交通ネットワークを構築する。

③ 基本理念

『子どもや高齢者などの交通弱者や観光客等の移動手段を確保するとともに、リニア中央新幹線の開業を見据え、リニア駅から県内各地への円滑な移動を確保するため、利便性の高いバス交通ネットワークを構築する』

④ 実現する将来像

- 利便性の高いバス交通ネットワークの構築
 - ・通勤・通学、通院や買い物など県民の日常生活における移動が、全県的なバス交通ネットワークの構築により、円滑にできる社会を実現する。
- 観光客の移動手段の確保
 - ・県外からの観光客等の県内各地へのスムーズな移動手段を確保するため、鉄道駅等と観光地や観光地間を結ぶ移動手段を確保する。
- リニア駅から県内各地への円滑な移動の確保
 - ・県内に張り巡らされたバス交通ネットワークやリニア駅と甲府駅を結ぶ新たなバス交通システムにより、県内各地へのスムーズな移動が可能となる。

⑤ 基本目標

- (1) 利便性の高い広域的なバス路線の整備
 - ・バス路線の起終点・経路の見直しによる利便性の向上
 - ・交通空白地帯の解消
 - ・地域の主要な拠点との接続や、経路・発着地の見直しによる利便性の向上
 - ・増便による通勤・通学の利便性の向上
- (2) 日常生活や観光客の移動手段となる地域内のバス路線の整備
 - ・鉄道駅への接続や地域の医療機関、商業施設などを經由することにより、日常生活の移動手段となるバス交通の利便性向上
 - ・地域内の商業施設や医療機関等をきめ細かく巡るコミュニティバスや観光客の移動の円滑化を図るコミュニティバスの運行
 - ・地域の主要拠点である鉄道駅や病院、商業施設などと接続する路線の新設による移動の円滑化、利便性の向上
- (3) リニア駅と県内各地を結ぶバス路線の整備
 - ・リニア駅と県内各地を結ぶ速達性を確保したバス路線の新設・再編
 - ・速達性、定時性を確保した甲府駅とリニア駅を結ぶ新たなバス交通システムの整備
- (4) バス交通の利用促進
 - ・実効性があり、持続可能なバス交通ネットワークを構築するため、効果的な利用促進策を実施し、利便性の高い安定的なバス交通の確保を目指す。

⑥ 目指すべき姿

《目指すべき姿》

鉄道駅などの県内の主要拠点間を短時間で結ぶ広域的な路線と、診療所や公民館などの施設をきめ細かく巡る地域内の路線について、それらが効果的に接続できるよう路線を再編・整備し、県内全域を円滑に移動できるバス交通ネットワークの構築を目指す。

※拠点

- ・移動の目的地となる拠点
- ・交通結節点としての拠点

※広域的な路線

- ・拠点間を結ぶ広域的な移動を可能とする路線

※地域内路線

- ・日常的な通院や買い物など、住民の移動ニーズに応じ、地域内をきめ細かく巡る路線
- ・地域の観光地をきめ細かく巡る観光客の移動の円滑化につながる路線